

在校生にインタビュー



千葉県立君津青葉高等学校 2年 佐藤汐香

私は将来介護の仕事をやりたいと思い、生活系列を選びました。授業を受けていくうちに、介護って大変な仕事だなと感じています。それでもやりがいのある仕事なので、将来介護職員になりたいです。そして少しでも多くのお年寄りの役に立てるように成長したいです。

千葉県立勝浦若潮高等学校 2年 残間美里

私は小さい時に病院によくお世話になっていたのですが、人の役に立つ仕事をしたいと思い福祉を学んでいます。福祉と言っても保育や介護、食についての授業など将来、役に立つ内容ばかりなので将来の夢が叶うようにしっかり学んでいきたいです。

千葉県立松戸向陽高等学校 2年 大橋佳奈

この高校に入って良かったと思うところは、高校生のうちに福祉の大変さを学ぶことができることです。そして、仲間の大切さも知ることができます。3年間、全員一緒にクラスで善し悪しはあっても、大切なことを学べます。このクラスで卒業し、国家試験の合格を目指したいです。この高校に入って1年が過ぎました。思うことは、福祉の勉強・実習等の変なことです。でも、後悔はしていません。一緒に闘っている仲間がいます。一人じゃないと気付くことができました。これからも頑張っていきたいと思っています。

千葉県立松戸向陽高等学校 3年 小宮山明花

私が福祉科を選んだ理由は、家庭環境が複雑だった為に同じ境遇の方の手助けをしたいという気持ちからでした。介護の勉強が主なので将来の土台として取り組んでいましたが、深く学ぶにつれてやりがいを見出すことができ、今では介護福祉士になる事が私の目標です。人の命を預かる事がいかに尊い事なのかを学べた事が一生の財産になりました。

千葉県立松戸向陽高等学校 1年 片柳瞳美

私は介護福祉士になりたいと思い、松戸向陽高校を受験しました。福祉の勉強は、専門用語が多く、わからないことや難しいことが多いのですが、楽しんで勉強しています。これからの勉強はもっと難しくなると思いますが、介護福祉士になるために頑張りたいと思います。

千葉県立君津青葉高等学校 3年 斎藤千夏

私は今まで福祉に関わることはありませんでした。でも、この系列に入って介護される人、介護する人の声などを聞いて、私たちの知らなかった色々な福祉の今や苦労などが見えてきました。この経験は学生のうちになかなかできない貴重なものだと思います。

千葉県立鶴舞桜が丘高等学校 3年 鈴木仁美

私が福祉コースを選んだ理由は、父が障害者だからです。日常生活を車椅子で過ごしています。家族旅行などに行く時にどうしても車椅子を持ち上げたり、押したりしなくてはならず、私が福祉コースに入れば、母の手伝いができると思ったからです。

勉強のかいがあるって、今ではいろいろな所に遊びに行けるようになりました。福祉コースを選んで良かったと思います。

千葉県立松尾高等学校 3年 黒沢 樹

私は、福祉の分野が学べるということで松尾高校を選びました。福祉の世界は奥が深いので、一番人間として成長できる高校時代から福祉を学べるというのは、とても有意義なことだと思います。このような学校がもっと増えれば豊かな社会になると思います。

千葉県立松尾高等学校 3年 阿嶋悠里

私が松尾高校を志願した理由は、介護の仕事をしている母を見て育ったため、幼いころから福祉を学びたいという気持ちがあったからです。実習や演習で福祉を学び、お年寄りや障害のある人々だけでなく、いろいろな人との接し方を学べていると思います。

千葉県立船橋豊富高等学校 2年 片岡 希

私は人と接することが苦手です。そんな自分を変えたい、自分と同じように苦手なことがある人の支えになりたいと思い、福祉を学ぶことを決めました。

福祉の授業は新しく覚えることが多く大変ですが、その分やりがいもあり、楽しいと感じています。今後とも前向きに勉強に取り組みたいと思います。

木更津総合高等学校 3年 高橋千明

福祉の授業は、自分の夢に向かって詳しく学べることで、実際に体を使ってさまざまな体験ができること、高齢者や障害者の立場になって考えることなどを学ぶことができます。福祉に関する職に就かなかったとしても役立つと思います。

木更津総合高等学校 3年 本吉真子

障害のある人の気持ちは同じ立場にならないとわからないと思います。それでも障害がある・ないに関係無く、平等に生きる社会にしたいです。その中の1つとして、私は今まで「親切」を心がけてきましたが、時には「見守る」ことの大切さも学びました。

木更津総合高等学校 3年 坂本 愛

私は幼い頃から看護師になるのが夢です。高校では一般的な勉強だけでなく、福祉という専門的な知識と視点を学び、福祉の考えをもった看護師を目指すため、木更津総合高等学校の福祉コースを選択しました。

千葉県立船橋豊富高等学校 2年 尾上佳織

私は、認知症の祖母の手助けをしたいという思いから、船橋豊富高校で福祉を学ぼうと決めました。いざ学んでみると、知らないことばかりで、毎回の授業で、新しい単語や法律・制度を学び、とても充実しています。これからも、授業を通してたくさんのことを学んでいきたいです。

木更津総合高等学校 3年 鈴木まな美

介護とはただ高齢者のお世話をするのではなく、コミュニケーションを取りながら、その人の意見をすくい上げ、それぞれの人の状態に応じた介護を行うことが大切だということを学びました。

千葉県立船橋豊富高等学校 2年 福原隆弘

私は身体の不自由な祖父母の役に立ちたいと思い、福祉を学ぶことを決めました。福祉は介護をすることだと思っていたのですが、授業を受けていく中で介護のほかにたくさんあること、自分自身も福祉に関わっていることを知りました。そして、将来は高齢者施設で働きたいという目標もできました。

今後は、目標に向かって授業や実習に取り組んでいきたいと思っています。